

# 新商品概要 / トピックス

## ETC多目的利用サービスのドライブスルーでの試行運用を開始

2020年8月3日

OKIは、日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社など4社と共働で、ETC多目的利用サービスのドライブスルーでの試行運用を行いました。これは、日本で初めての取り組みで、キャッシュレス化による利便性の向上や決済処理の効率化、接触機会の低減による新型コロナウイルスへの感染予防などの効果が期待されています。

今回試行運用を実施する5社※1は、2013年6月14日に閣議決定された「世界最先端IT国家創造宣言」の中で示された「駐車場等、高速道路以外の施設でもETC等のITS技術が利用可能となる環境を整備し、利便性の向上を図る」という方針に基づき、国土交通省の指導のもと検討を進めてきました。ネットワーク型ETC技術※2の活用により、セキュリティが確保された安全なシステム運用が可能となったことから、実店舗での試行運用で技術面・運用面の検証を行うこととなりました。

※1：5社  
OKI、ソニーペイメントサービス株式会社、中日本高速道路株式会社、日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社、株式会社メイトコム

※2：ネットワーク型ETC技術  
遠隔地に設置したセキュリティ機能を有した情報処理機器と、駐車場などに設置した複数の路側機を通信ネットワークで接続し、路側機で取得した情報を集約させて一括処理することで、ETCカードを用いた決済の安全性を確保する技術。

### ◆試行運用概要

店舗	ケンタッキーフライドチキン 相模原中央店 (神奈川県相模原市中央区中央2-13-1)
期間	2020年8月3日(月)～11月30日(月)
対象	ご協力いただけるモニター
検証内容	決済処理の時間計測やモニターアンケートなどから、ETC多目的利用サービスに伴うキャッシュレス化による利便性向上や、決済処理の業務効率化などの効果を検証。



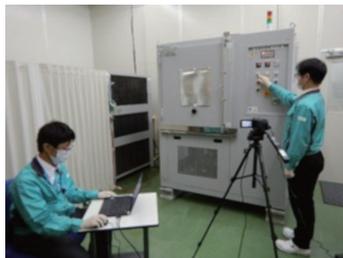
現地状況(白点線枠囲みはETCアンテナ)

●お問い合わせ先:  
OKI ソリューションシステム事業本部  
社会インフラソリューション事業部  
e-mail: ss-si-etc-multi-purpose@oki.com

## 電子機器・電子部品の環境試験54種類の「オンライン立会試験・評価」サービス開始

2020年7月30日

OKIエンジニアリング(以下、OEG)は、電子機器・電子部品の環境試験を委託するお客さま向けに、インターネット会議システムと高解像度カメラを利用した「オンライン立会試験・評価」サービスを開始しました。



オンライン立会試験・評価の様子

OEGは6月より「オンライン立会解析」サービスを提供しています。「オンライン立会試験・評価」サービスではオンライン立会を環境試験・評価※に適用しました。ウィズコロナ時代のサービスとして、OEGが提供する全ての試験・評価に対応します。

※：環境試験・評価  
高温、高湿、振動、衝撃、ほこり、水、薬品、火、ガス、オゾン、太陽光、気圧、静電気、電磁波など54種類。

### アピールポイント

「オンライン立会試験・評価」サービスでは、お客さまは映像をもとに試験状況を確認し、次の評価手段をOEGの専門技術者と相談しながら決定します。対象サンプルのセットアップの状況や環境試験の結果は、複数の高解像度カメラを用いて撮影し、状況に応じて切り替えて、クリアな映像をリアルタイムにお届けします。試験・評価で取得した電子データは、後日提供します。

本サービスにより、お客さまはオフィスやテレワーク先から、OEGの環境試験設備を使用した試験・評価に立会うことができます。試験現場まで移動する費用・時間を削減できることに加え、新型コロナウイルス感染症への感染リスク、感染予防策の負担を低減することが可能となります。また、本サービスはオフィスやテレワーク先から、責任者、エンジニアなど複数の人が同時かつ容易に立会うことができるため、試験の環境確認から試験結果に至るまでの判断が迅速となり、お客さまの機器開発期間の短縮にも寄与します。

●お問い合わせ先: OKIエンジニアリング システム評価事業部  
TEL.03-5920-2354 URL: <https://www.oki.com/cgi-bin/inquiryForm.cgi?p=k036>

## バーチャルオフィスシステム「ワークウェルコミュニケーター クラウド」がiOSをサポート

2020年8月12日

OKIワークウェル(以下、OWW)は、在宅勤務向けバーチャルオフィスシステム「ワークウェルコミュニケーター クラウド(以下、「WWCクラウド」)」が動作するOSとして、従来から対応しているMicrosoft WindowsやAndroidに加えApple社が提供するiPhone、iPadのOSであるiOSをサポート対象としました。

「WWCクラウド」は、重度障害者を在宅雇用する企業や、遠隔でIT教育を行う障害者支援団体などに適したバーチャルオフィスシステムで、新型コロナウイルスの感染拡大防止やワークライフバランスの強化に取り組む企業においてテレワークへの移行を安価かつ手軽に進めるためのツールとしても利用できます。今回iOSをサポートしたことで、端末を選ばずに「WWCクラウド」の導入が可能となります。



「WWCクラウド」のシステム構成と画面イメージ

Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。

### ■ WWCクラウドの特長

- 常時接続が基本で、をクリック一つですぐに誰とでも会話が可能です。ビジネスで重要な「組織間での立ち話」「『ちょっとちょっと』のコミュニケーション」「インフォーマルな会議」などが、テレワークでも可能です。
- ユーザーが利用可能な端末は、ブラウザが搭載されているパソコン、タブレット端末、スマートフォンなどで、機種やOSを問いません。
- ユーザー端末へのソフトのインストールは不要、かつ利用料金は1ユーザーにつき月額1,000円で、安価・手軽に導入できます。
- 最大100名まで同時に接続(会話も)可能です。
- OWWの20年間の在宅雇用の経験から、ビジネスにおける音声コミュニケーションの重要性を反映しました。音声機能の優先、シンプルな操作性、ネットワークへの負荷軽減のため、「ファイル共有機能」や「映像機能」は装備していません。打ち合わせメンバーで同じ資料を見る場合は、メンバーが共有サーバーにあるファイルを開覧します。
- 映像機能はプライバシー保護の観点からも標準装備しませんが、お客様との顔合わせや研修会、商品の形状確認など映像が必要な場面では、ネットワークカメラを併用します。

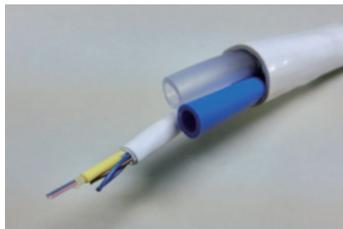
●お問い合わせ先：OKIワークウェル

URL：<https://www.okiworkwel.co.jp/>

## 8K内視鏡用光電気複合ケーブルを開発

2020年8月18日

OKI電線は、エア・ウォーター・バイオデザイン株式会社(本社：兵庫県神戸市)が世界に先駆けて開発した8K内視鏡<sup>※1</sup>に使用する光電気複合ケーブル(以下、光複合ケーブル)の開発に成功し、出荷を開始しました。



光複合ケーブル

### アピールポイント

8K内視鏡を使用した手術は、患部を大画面モニターに鮮明に表示することで、細かい血管や神経が確認しやすくなり、切開や縫合の精度向上、及び手術時間の短縮など医療スタッフや患者の負担軽減につながることから、世界の医療業界から注目されています。

今回開発した光複合ケーブルは、8K内視鏡を使用した

手術において、内視鏡をホールドする医療スタッフの負担を軽減する「軽量化」と、ケーブルの反発力を低減し内視鏡の取り回し性を向上させる「柔軟性」を実現しました。ロボット用ケーブルの開発を通じて培ったOKI電線独自のノウハウを活かして、8K映像信号を高速かつ高精度に伝送できる広帯域光ファイバーケーブル、内視鏡への電力供給と制御を行うメタル電線、さらに高温となる8K映像モジュールを冷却するためのエアチューブをコンパクトに一体化しました。また、ケーブル全体を覆う外被は軽量コイル芯入り<sup>※2</sup>とすることにより潰れにくさと、従来製品に比べ20%の軽量化を両立しながら、柔軟性・耐久性向上を実現しました。

※1：8K内視鏡

水平画素数7,680×垂直4,320(ピクセル)の超高解像度映像で撮影が可能な医療用内視鏡カメラ

※2：軽量コイル芯入り外被

軽量素材で作られたコイル状の補強心が一体成型された特殊なケーブル外皮。外圧による潰れに強く、かつ自由に曲げられる柔軟性が特徴。

●お問い合わせ先：OKI電線 お客様相談窓口 TEL.0120-087091(フリーダイヤル)

## Sler共創システム用出力端末として世界最小の幅狭カラーLEDプリンターを発売

2020年9月3日

OKIデータは、世界最小<sup>※1</sup>サイズながら高い性能・汎用性とユーザビリティを実現した幅狭カラーLEDプリンター「PLAVI(プラビ) Pro330S」を、サービス、流通・小売、製造業など、カラーによる視認性や識別性の向上を必要とする現場において、Slerと共創する業務改善システム用の出力端末として発売しました。



PLAVI Pro330S

### アピールポイント

「PLAVI Pro330S」は、最小25mm／最大86mmの幅狭用紙への多様なカラーオンデマンド印刷が可能です。

#### ■ PLAVI Pro330Sの主な特長

- ①狭小スペースや専用端末への組込を可能とするコンパクトボディ(198×380×195mm(W×D×H))
- ②お客さまをお待たせすることのないクイックプリント(ファーストプリント約5秒以下<sup>※2</sup>)
- ③最小25mm／最大86mmまでの幅狭用紙への印刷に対応

- ④ロール紙、ファンフォールド紙<sup>※3</sup>、カット紙(手差し)から媒体を選択し印刷が可能<sup>※4</sup>。また、カッター搭載のため連続紙は印刷時、必要に応じた長さや枚数にカットが可能
- ⑤トップカバーを開けずにトナーカートリッジ交換ができる高いユーザビリティ

Sler共創の第一弾として、株式会社寺岡精工(本社:東京都大田区)の売価表示ソリューション「T@POP」で使用する「T@POPカート」搭載用プリンターに「PLAVI Pro330S」が採用されました。



寺岡精工の売価表示ソリューション「T@POPカート」

- ※1: カラーLED/レーザープリンターの設置面積において。2020年8月現在、OKIデータ調べ。  
 ※2: データ受信から用紙先端が排紙口に到達するまでの時間。  
 ※3: 連続印刷が可能なミシン目入り用紙。  
 ※4: ロール紙ホルダーなどの給紙機構は付属しておりませんので、必要に応じお客さまにて開発またはご用意いただきます。

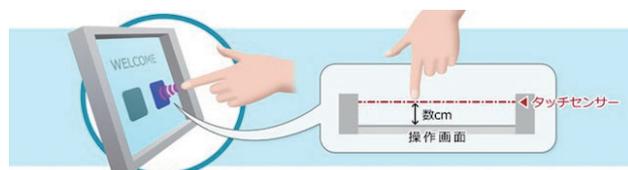
「PLAVI Pro330S」はシステム連携用の商品のため、販売価格や販売方法、詳細仕様についてはOKIデータ国内営業本部へお問い合わせください。

●お問い合わせ先: OKIデータ 国内営業本部  
 e-mail: okidata-pro-dsd@oki.com

## 非接触での画面操作を可能にする「ハイジニック タッチパネル」を開発

2020年9月9日

OKIは、不特定多数のお客さまが利用するATM、自動チェックイン機、券売機、電子マネーチャージ機などさまざまなセルフサービス端末における新型コロナウイルス感染予防策の一環として、画面に触れずにタッチパネル操作が可能となる「ハイジニック タッチパネル<sup>TM</sup>」を開発しました。



「ハイジニック タッチパネル」操作イメージ

「ハイジニック タッチパネル」は、端末の操作画面の数cm上に特殊なタッチセンサーを実装しており、利用者はタッチセンサーに指をかざすことで操作ができるため、操作画面に触れず

に取引を行うことができます。また、操作画面に抗菌フィルムを貼り付けることもできるため、利用者が誤って操作画面に触れてしまった場合でも、安全にお使いいただけます。

日本航空株式会社(JAL)では8月24日から9月15日まで、羽田空港において、「ハイジニック タッチパネル」を搭載した自動チェックイン機の試行を実施しました。OKIは、今後、金融・流通・小売・医療など、セルフサービス端末を導入しているさまざまな業界・分野へ展開し、安心で便利な社会のインフラを支えていきます。



「自動チェックイン機での試行」

●お問い合わせ先: OKI コンポーネント&プラットフォーム事業本部 自動機事業部  
 URL: <https://www.oki.com/cgi-bin/inquiryForm.cgi?p=024j>

## OKI、コニカミノルタ、丸紅による共創で withコロナ時代の安全・安心な社会づくりに貢献

2020年9月24日

OKI、コニカミノルタ株式会社(以下、「コニカミノルタ」)、丸紅株式会社(以下、「丸紅」)の3社は、OKIのAIエッジコンピューター「AE2100<sup>※1</sup>」、コニカミノルタのグループ会社であるMOBOTIX AGの「MOBOTIX<sup>®</sup>ネットワークサーマルカメラ(以下、「MOBOTIXサーマルカメラ」)<sup>※2</sup>及び丸紅の子会社である丸紅ネットワークソリューションズ株式会社(以下、「丸紅ネットワーク」)のクラウド型AI映像監視サービス「TRASCOPE-AI<sup>※3</sup>」を連携し、オフィスや各種施設の入口などの通行者の体表温度測定・マスク有無自動検知・顔認証ソリューション(以下、「本ソリューション」)の試行運用を開始しました。

本ソリューションでは、MOBOTIXサーマルカメラを用いて対象者の体表温度測定を行うと同時に通常カメラでも映像を捉え、AE2100に搭載されたコニカミノルタ製マスク有無自動検知エンジン及びSaffe社製<sup>※4</sup>顔認証エンジンが解析を行います。マスク有無自動検知エンジンは、コニカミノルタ独自の属性認識技術とディープラーニング技術により、高速で高精度な検知を実現しています。システム全体のインテグレーション・ソリューション化は丸紅ネットワークが担当し、解析された検知/認証結果はTRASCOPE-AI上で管理され、リアルタイムに確認を行うことが可能です。

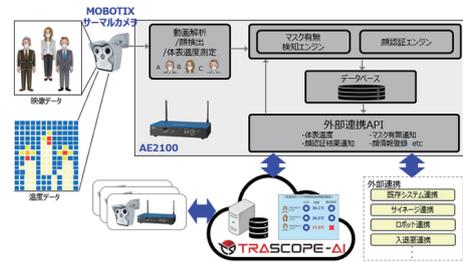
また、1台のMOBOTIXサーマルカメラで同時に複数人を認識し、それぞれの体表温度測定、マスク有無自動検知、顔認証を行うことが可能なため、複数人のチェックを実施する管理者の時間と手間を大幅に低減することが期待できます。

さらに本ソリューションは、解析結果が閾値を超えた対象者がいた

場合、遠隔地の管理者へのメールなどによる即時アラーム通知や、顔認証機能を活用し社員データベースなどと連携した詳細な対象者把握のほか、表示灯などの外部機器との連携など、現地での無人運用を含むさまざまな運用ケースに対応可能とする多様な機能を実装します。

今後3社は、本ソリューションにより、新型コロナウイルス感染拡大防止に取り組むお客様をサポートしていきます。

- ※1: AE2100  
高速ディープラーニング推論処理をエッジ(現場)で実現する、耐環境性に優れたAIエッジコンピューター。
- ※2: MOBOTIXネットワークサーマルカメラ  
ネットワーク監視カメラ及びビデオマネジメントソフトウェアのメーカーであるMOBOTIX社(本社:ドイツ・ラングマイル)が提供するMOBOTIX IPネットワークカメラシステムのラインアップの一つ。夜間・暗所の防犯監視に加え、各種設備の温度監視や発火監視など、さまざまな用途での利用実績を持つ。
- ※3: TRASCOPE-AI  
無線クラウドを活用したAI映像監視サービスで、ハードウェアの電源確保のみで専用ダッシュボードや遠隔からのAIエンジンアップデートなどのさまざまな機能を提供。
- ※4: Saffe社  
イギリス・ブラジルを拠点とする顔認証技術に特化したIT企業で、NIST(アメリカ国立標準技術研究所)による顔認証の精度評価において世界トップレベルの成績をマークした実績を持つ。



ソリューションの提供イメージ

●お問い合わせ先: OKI ソリューションシステム事業本部 金融・法人ソリューション事業部/イノベーション推進部  
TEL. 03-5440-4619

## 中央大学と「AI・データサイエンス社会実装ラボ」を設立

2020年8月20日

OKIと中央大学(所在地: 東京都八王子市)は、AI・データサイエンスに関連する共同研究について包括連携する基本協定書を締結し、初の活動として中央大学が産官学連携の拠点を置く後樂園キャンパス(東京都文京区)に「AI・データサイエンス社会実装ラボ」(以下、本ラボ)を開設しました。

本ラボは、中央大学が2020年4月に設立した「AI・データサイエンスセンター」に設置するラボの第一号となります。AI・データサイエンスに関する最先端の知識と優秀な教授陣を持つ中央大



学と、社会インフラにおける現場の実課題やデータを持つOKIの産学連携により、AIの社会実装を実現できる実践力を持ったAI人材の育成に取り組めます。初年度はスマート工場の実現のため諸課題を解決しながらAIの汎化性能向上や少データによる学習に取り組むなど、複数のプロジェクトの実施を計画しています。

### ◆本ラボの概要

目的	産学連携によるオープンイノベーションの拠点化 AI・データサイエンス分野の社会実装と人材育成
2020年度プロジェクト計画	1. 画像解析・振動解析などを含むリアルタイムインテリジェンスに関わる諸技術の高度化 2. 工場の効率化を題材としたAIの社会実装における諸課題(汎化性能の向上、少データからの学習など)に対応するための研究開発 3. シミュレーション・最適化など、社会課題解決のために必要とされる技術の研究開発

●お問い合わせ先: OKI 広報部 URL: <https://www.oki.com/cgi-bin/inquiryForm.cgi?p=015j>